

## 小牧駅前広場等整備基本計画(案)に関する パブリックコメント実施結果概要

### 1. 意見募集期間

令和8年5月18日(月)～令和8年6月16日(火)

### 2. 意見募集の周知方法

- 広報こまき (令和8年5月号)
- 市ホームページ

### 3. 資料閲覧場所

- 市役所情報公開コーナー (本庁舎1階)
- 市役所都市整備課窓口 (東庁舎2階)
- 東部・味岡・北里の各市民センター
- 西部・南部の各コミュニティセンター
- 市ホームページ

### 4. 提出された意見の件数

19名より計43件

### 5. 意見の内訳 (計43件) ※意見の詳細及び意見に対する市の考え方(案)は、[資料2](#)参照

#### 1. 駐輪場に関する意見 [No.1, 7, 15, 17, 19]

- (ア) 駅東への配置に対する反対意見 (景観、歩行者との交錯)
- (イ) 駅東の駐輪場の面積拡大が必要

#### 2. 駅ビルに関する意見 [No.2, 18]

- (ア) 現駅ビルの外観の改善
- (イ) 東西分断解消に向けた建替移転が必要

#### 3. 市道小牧駅西線 (一方通行化、横断指導線等) に関する意見 [No.3, 9, 15, 19, 20]

- (ア) シンボルロードも一通行
- (イ) 道路廃止、歩行者天国化
- (ウ) 駒止公園前交差点への信号設置
- (エ) 横断指導線ではなく歩道橋設置
- (オ) 北向き一通行ではなく南向き一通行

#### 4. 日陰に関する意見 [No.3]

- (ア) 日陰が必要

5. 店舗（飲食店）に関する意見 [No.3, 4, 9, 19]
  - (ア) 魅力ある店舗が必要
  - (イ) 駅東ではなく駅西への飲食店設置
  - (ウ) ターゲット層を絞った店舗設置
  - (エ) 名鉄小牧駅ビル1階部分を活用すべき
6. キッチンカーに関する意見 [No.4]
  - (ア) 出店者の魅力・発信力・商品力が重要
  - (イ) 出店基準・治安対策などの運用ルールが必要
7. 治安（安全・安心な環境整備）に関する意見 [No.4]
  - (ア) 照明・防犯カメラの設置など安全対策を明記すべき
8. シェルターに関する意見 [No.4]
  - (ア) 地下のものか地上のものかが不明でありイメージし難い
9. まちづくり団体との連携に関する意見 [No.4]
  - (ア) 既存団体ありきではなく幅広く検討すべき
10. 喫煙所に関する意見 [No.5, 11, 12]
  - (ア) 路上喫煙禁止区域内における喫煙者への配慮という点からも喫煙所が必要
11. バスロータリー整備に関する意見 [No.6, 7, 14, 15, 16, 17, 19, 20]
  - (ア) バスロータリー再整備に対する反対意見（費用対効果が低い）
  - (イ) 駅東側に南北に配置してはどうか
12. P-PFIに関する意見 [No.6, 7, 10]
  - (ア) P-PFIによる整備に対する反対意見
13. 空き店舗に関する意見 [No.7]
  - (ア) シンボルロード沿いの空き店舗の利活用
14. イベントに関する意見 [No.8]
  - (ア) イベント内容を工夫して多くの人達が来なくなる魅力的な街とする
15. ターゲット層の設定に関する意見 [No.9]
  - (ア) 活気を生むためにはある程度ターゲット層を絞ることが重要
16. 名古屋鉄道㈱との連携に関する意見 [No.10]
  - (ア) 計画策定において名鉄の意向に振り回されすぎ
17. 緑化に関する意見 [No.13]
  - (ア) 街路樹など緑を多いことが重要
18. 交番設置に関する意見 [No.15]
  - (ア) 現実的に交番設置ができるのか不透明
19. 整備方針・空間デザインに関する意見 [No.17]
  - (ア) 低コスト・可変型の広場整備が必要（舗装材・庇・簡易ベンチ等の提案）
20. 計画策定プロセスに関する意見 [No.20]
  - (ア) 市民の意見を十分に聞いておらず、有識者会議でも十分な議論がされていないため、一旦白紙とすべき
21. 中心市街地のまちづくりに関する意見 [No.20]
  - (ア) 一貫性のない街づくり計画と断片的な整備により中心市街地活性化が図れていない

## 5. 計画案に反映させる意見（4件）

### (1) 日陰について

**意見** 駅から図書館まで歩こうと思った際に、6月以降は過酷な日射の中を歩く必要があります。歩道に全く日陰がない。これでは歩こうという人はいなくなります。歩いて気持ちよくなる街には木陰が必要です。小牧山まで緑を繋ぐことを希望します。

**考え方** 日陰については、居心地が良くやすらぎのある空間づくりにおいて必要な要素と考えますので、本計画案 17 ページの方針に基づく主な施策中「**■居心地が良くやすらぎのある空間づくり**」において、「快適に過ごすことができる日陰空間の確保」を追記します。

### (2) 治安（安全・安心な環境整備）について

**意見** 本計画では、駅雨空間の再整備やにぎわい創出については記載がある一方で、駅周辺の治安や夜間の安全性に関する記述が十分ではないと感じます。駅前に人を集めることは、必ずしも良好なにぎわいだけを生むものではありません。人の滞留が増える以上、夜間の騒音、迷惑行為、防犯上の課題などについても、計画段階から具体的に検討すべきではないでしょうか。特に、近年整備された芝生広場についても、夜間は照明が不足しており、暗さを感じます。名鉄小牧ホテルが今後も存続するのであれば、宿泊者や駅利用者の安全性、まちの玄関口としての印象を踏まえても、照明の増設や防犯カメラの設置、警察・地域団体との連携など、ハード・ソフト両面での安全対策を明記すべきです。「にぎわい」だけでなく、「安心して滞在できる駅前」であることを計画の前提にしていきたいです。

**考え方** 駅前広場は、多くの方が昼夜を問わず安心して過ごせる場所であることが大切だと考えており、本計画案 16 ページの駅前広場等整備の基本方針においても「安全・安心で人に優しい空間づくり」を掲げております。夜間の照明や防犯カメラの設置については、駅前の防犯環境をより良くするために重要であると考えているため、駅前広場等整備の基本方針として、本計画案 16 ページの方針に基づく主な施策中「**■安全・安心な環境整備**」において、「照明や防犯カメラ等の設置による利用者の安全確保」を追記します。

### (3) シェルターについて

**意見** 計画内で「天候に左右されないシェルター」といった趣旨の記載が見られますが、提示されているパース等からは、その具体的な内容が十分に読み取れませんでした。地上部に屋根付きの歩行空間を整備するといった意味なのか、地下空間や地下通路を想定しているのかによって、事業費も整備内容も大きく異なるはずですが、仮に地下通路や地下シェルターのようなものを想定しているのであれば、11億という事業費で実現可能なのか疑問があります。一方で、地上部の簡易な屋根や庇の整備であれば、「天候に左右されない」と表現するにはやや過大ではないでしょうか。市民が正しく判断できるよう、シェルターの位置、構造、規模、整備範囲、概算費用の内訳を明確に示すべきです。現状の説明では、整備内容と費用感の関係が不透明です。

**考え方** 本計画案におけるシェルターは、地上部において歩行者の利便性を高め、天候に左右されずに滞在・移動できる空間の確保を目指しております。本計画案のイメージパース図におきましては、あくまでイメージとして空間の全体像を優先しており、シェルター等の構造物については表現しておりません。いただいたご意見を踏まえ、シェルターが地上部のもつ分かるよう、本計画案の本文中に説明を追記します。なお、本計画案 20 ページの事業費については、現時点での概算であり、建設コストや設計内容等により変動する可能性があることを記載しております。

#### (4) 使う側の視点に立った設備の整備について

**意見** 昭和時代を再現した商店街を作り（ラピオ通・シンボルロード・駅周辺）、全国的に知名度を上げて活性化。昭和レトロ文化祭は、その前哨実験例でしたが、今でも多くの良かったという声や再度開催してほしいという声を聞きます。市民祭や夏まつり・城見市などこのイベントを絡めて、最終的にはいつでも昭和～平成初期を感じられる、大人には懐かしく、若者にはエモくて新しい、多くの人達が来たくなる（行きたくなる）魅力的な街になることを願っています。

**考え方** イベントの開催内容等は本計画を超えたご意見となりますが、イベントなど多目的な利用が可能なオープンスペースを設置し、駅周辺の魅力を高めてまいります。  
なお、まちの活性化に資するにぎわいを創出するためには、利用する側だけでなくイベント等を主催する側にとっても使いやすい施設とする必要があると考えているため、本計画案 16 ページの方針に基づく主な施策中「■人々が集い・交流できる空間づくり」において、「イベント主催者等が円滑かつ効率的に施設を使用できるように利用者視点に立った設備の整備」を追記します。